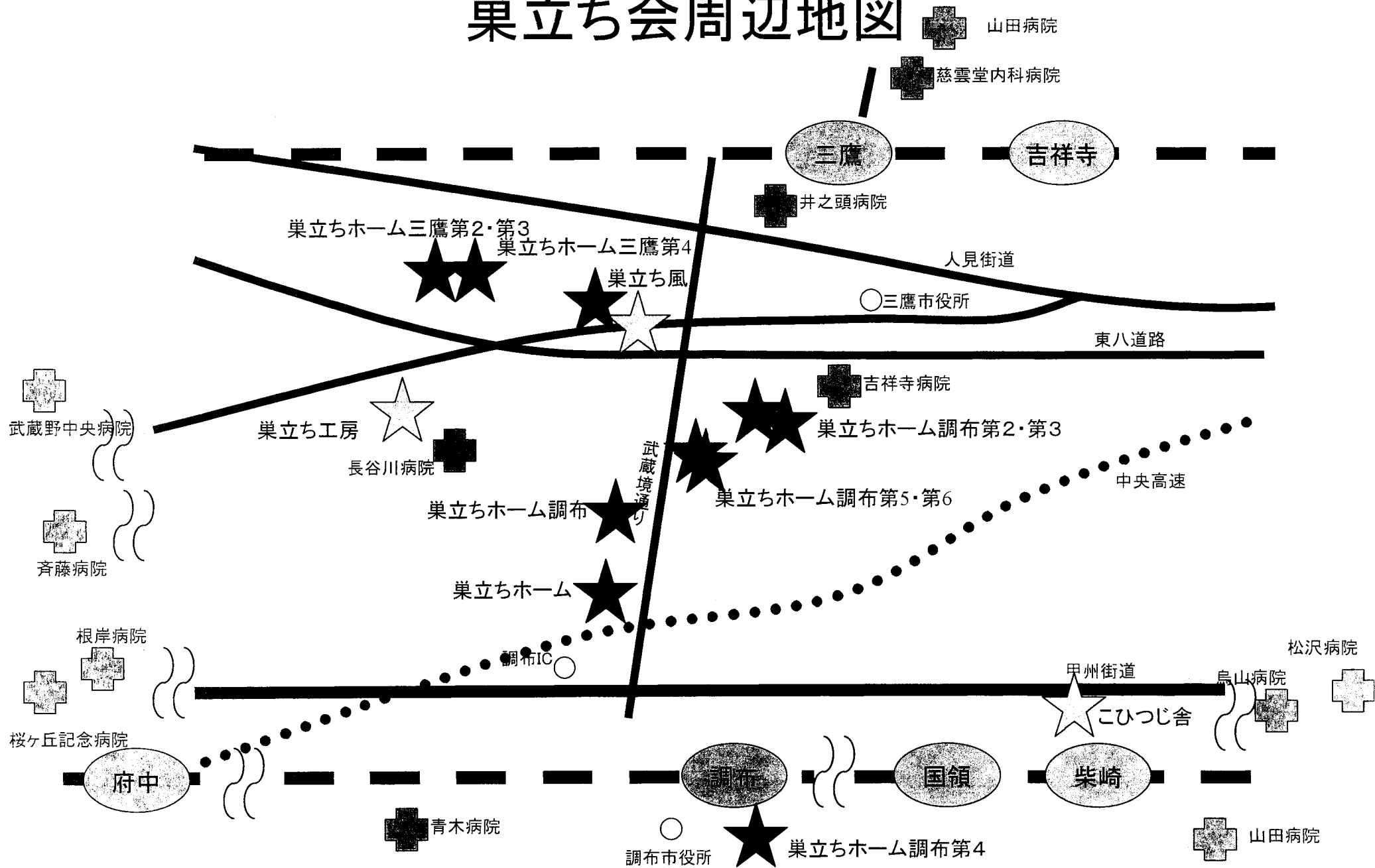


# 退院促進事業の実践

社会福祉法人 巢立ち会

田尾有樹子

# 巢立ち会周辺地図



# 三鷹市・調布市人口千対病床数

三鷹市	7.3床
調布市	4.4床
三鷹+調布	5.7床
八王子市	8.4床
日本	2.8床

# 巣立ち会全体図

夕食会

巣立ち  
ホーム 6名

巣立ちホーム  
三鷹第2 5名

巣立ちホーム  
三鷹第3 6名

社会福祉法人  
巣立ち会

巣立ちホーム  
三鷹第4 4名

巣立ちホーム  
調布 5名

生活の場

巣立ちホーム  
調布第2 6名

巣立ちホーム  
調布第4 6名

巣立ちホーム  
調布第3 8名

巣立ちホーム  
調布第6 6名

巣立ちホーム  
調布第5 7名

10ヶ所のグループホーム

援助付  
雇用

援助付  
雇用

援助付  
雇用

働く場

3ヶ所の日中活動の場

## 巣立ち会の通所施設

名称	利用者	体験利用者	合計
巣立ち風	36	12	48
巣立ち工房	36	7	43
こひつじ舎	51	10	61
合計	123	29	152

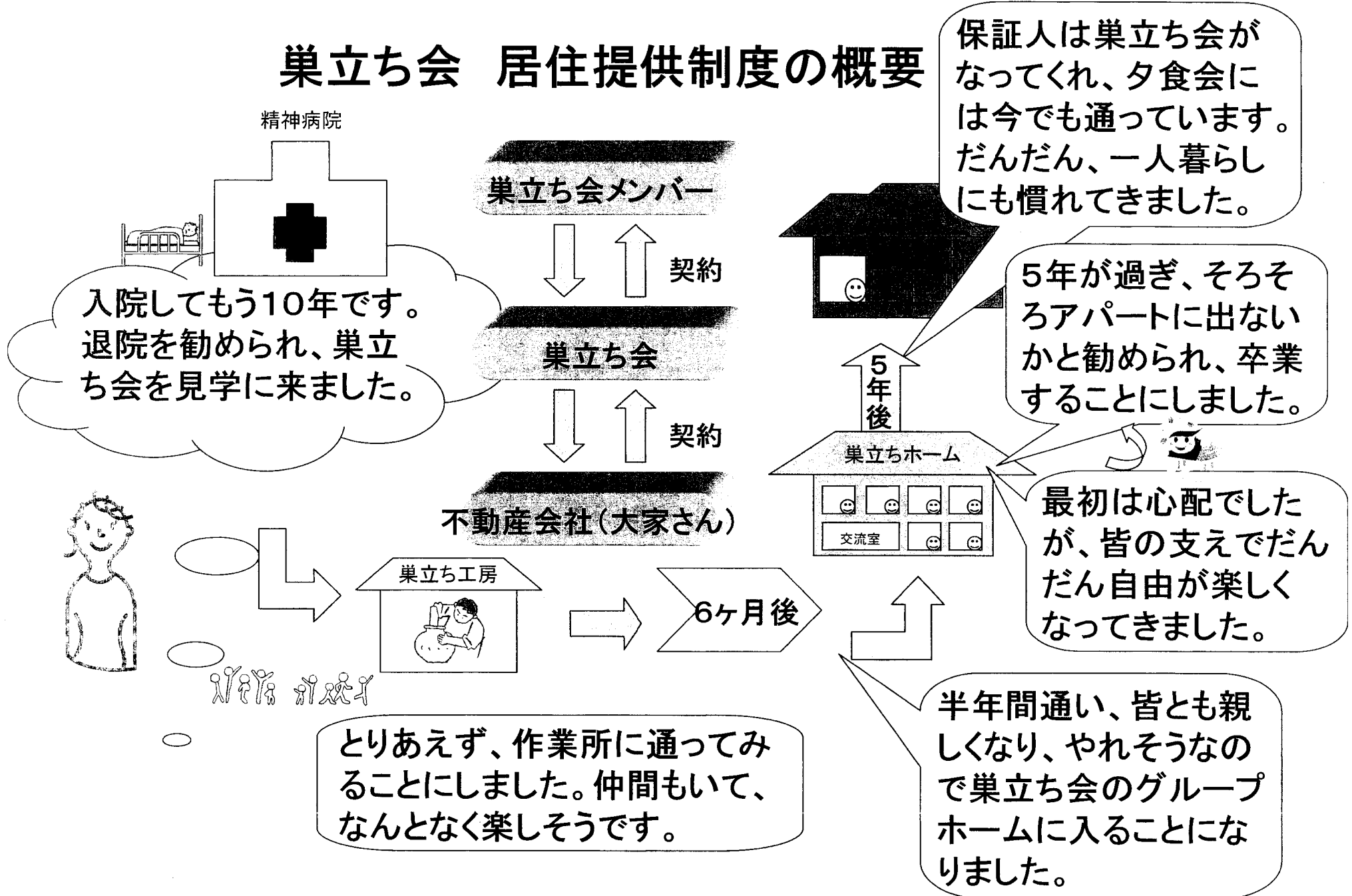
# 巣立ち会の居住施設

名称	利用者	定員(居室数)
巣立ちホーム	6	6
巣立ちホーム三鷹第2	5	5
巣立ちホーム三鷹第3	6	6
巣立ちホーム三鷹第4	4	4
巣立ちホーム調布	5	5
巣立ちホーム調布第2	5	6
巣立ちホーム調布第3	6	6
巣立ちホーム調布第4	7	8
巣立ちホーム調布第5	5	7
巣立ちホーム調布第6	5	6
居住支援	24	35
合計	77	94

# グループホームなど新築物件5件の状況

	巣立ちホーム	巣立ちホーム調布	巣立ちホーム調布第2	巣立ちホーム調布第3	巣立ちホーム調布第5
建築年	H16.2	H17.9	H10.6	H15.1	H18.3
居室数	6	5	6	8	13
家賃	52万円	42万円	53万円	58万円	102万円
居室の家賃	65,000	63,000	65,000	60,000	69,000
家主	地域の地主	元郵便局長 地域の地主	以前、職親の経験あり。民生委員の経験あり	地域の地主。農家。	地元で事業をしている。民生委員。
建ててもらった経緯	利用者が建設中のアパートの不動産屋と交渉したことがきっかけ。	東京都の用地買収の人を通しての情報。	以前、職親を依頼したことがある。	第2の家主の親戚。	東京都の用地買収の人を通しての情報。

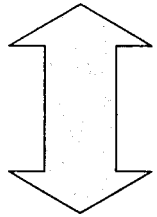
# 巣立ち会 居住提供制度の概要



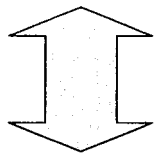


## 巢立ち会 居住提供の概要

利用者



巢立ち会



不動産会社  
(大家)

①利用者は巢立ち会の小規模授産施設や作業所などに3ヶ月週4日通える実績をつくってもらいます。

②利用者、家族、病院スタッフ、巢立ち会スタッフでカンファレンスを開き、地域生活を行うにあたっての契約を結びます。(通院、服薬、通所など)

③巢立ち会がアパートやグループホームを探し、紹介する、又は巢立ち会がアパートを借りて利用者に貸すという契約をします。

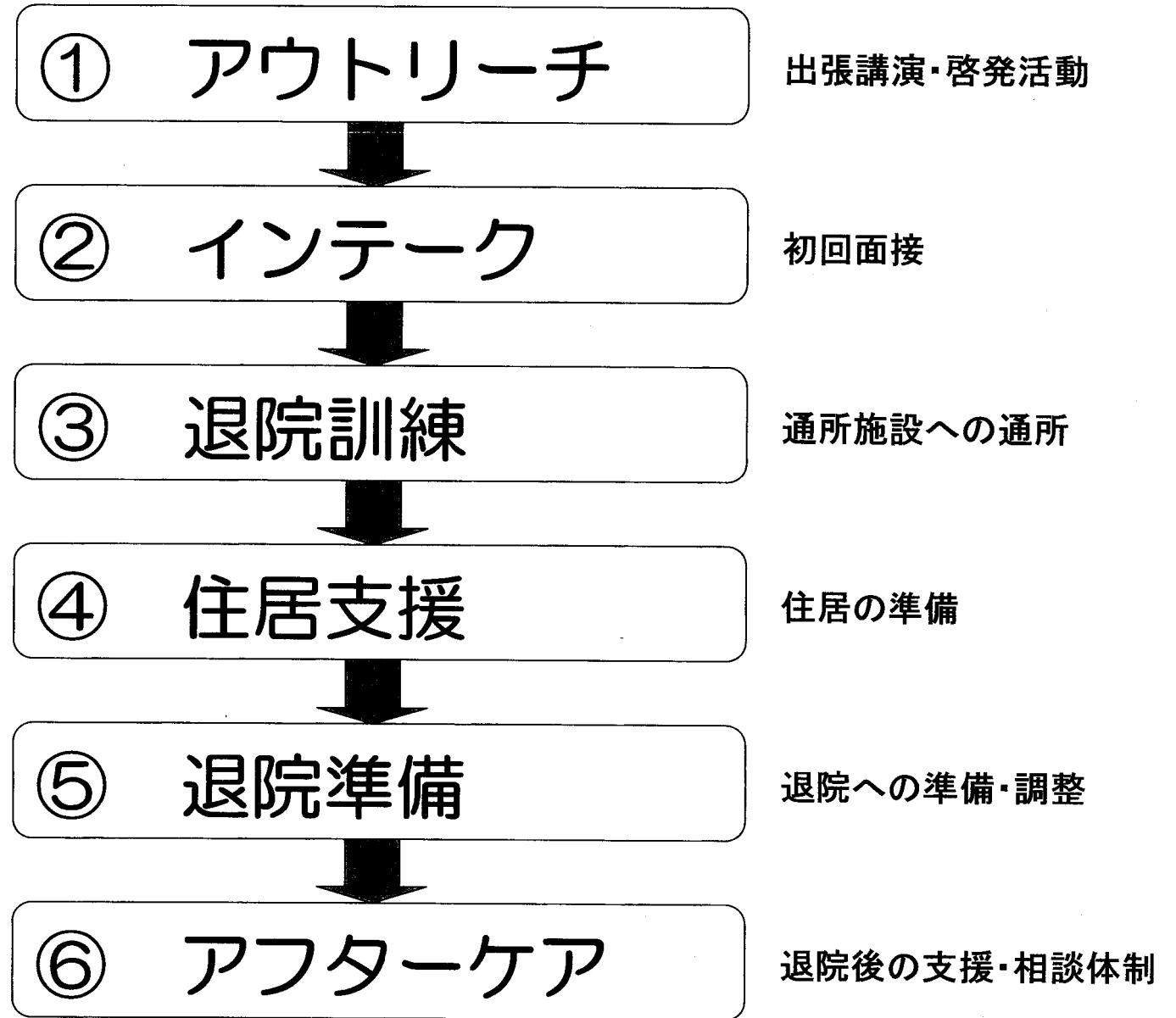
④入居後は巢立ち会が指定する保険に加入してもらいます。

⑤巢立ち会は不動産会社(大家)に対し、病気、事故など入居後にトラブルが生じた場合、支援を行う約束をします。緊急時の連絡先などもお伝えします。

# 住居支援に力を入れた理由

- 住居がなければ退院できない
- 退院できる目安が付けば人は変わる
- 家族も地域に支援者がいれば退院を受け入れる
- 利用者が孤独にならない仕組みが作れる
- 共同で住む事でピアの力が引き出せる
- 病院も支援付き住居があれば退院を勧める
- 通所と組み合わせることでより安定した継続的な地域支援が可能になる

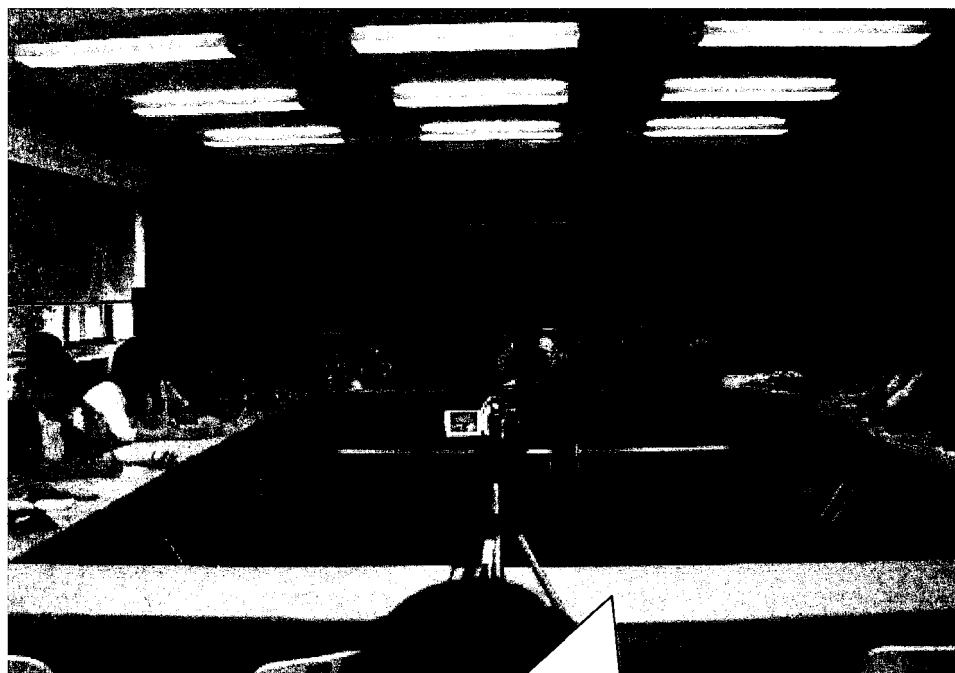
# 退院促進支援の流れ



## ① アウトリーチ～その1～

## 出張講演

退院を経て、現在地域生活をしている巣立ち会のメンバーおよびスタッフが病院の病棟に出向き、入院患者さんと病棟の職員さんに対して自己の体験談や具体的な情報についてお話しします。



**メンバーが積極的に  
講演に出かけます。**

# ピアサポートの意味

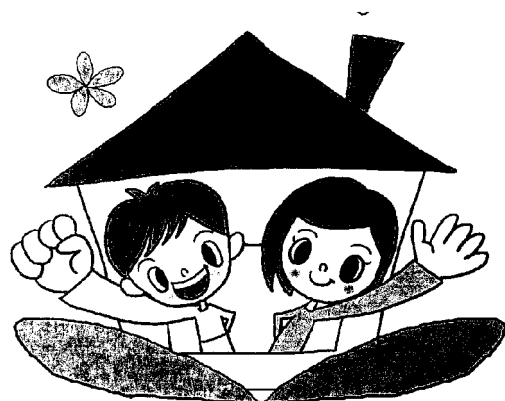
- 当事者がエンパワメントされる
- 主体的に生きることで潜在的な可能性が引き出され、自信がつく
- 同じ経験をしたものが相談・支援に効果的である
- 支援される側から支援者へと支援の輪が広がる
- 担い手の数が増える
- 共通の課題を有する人たちの定期交流の場・仲間づくりとなる

## ① アウトリーチ～その2～

## 啓発活動

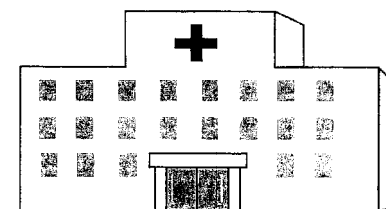
病院と退院促進の理念や目標を共有し、事業への理解と協力を得るために、当会職員の訪問による事業説明および協力依頼を積極的におこなっております。

また、この活動では病院内に一人、また一人と退院促進の支持者を増やしていくと共に、組織内のあらゆる方々に退院促進支援事業の周知と理解を得ることを目指しています。



地域

- ・ 院長との個別面談
- ・ 看護師やPSW、OTに対するプレゼン

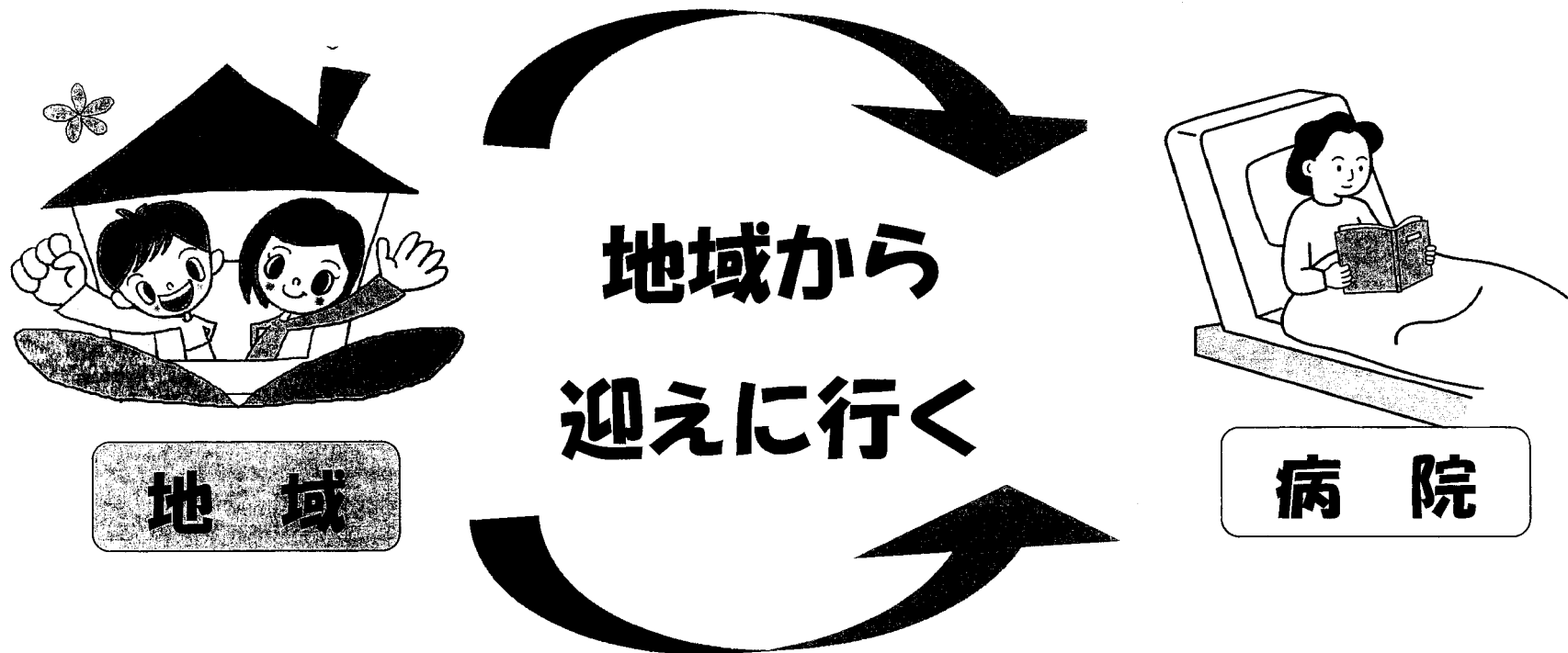


病院

## ② インテーク

まずは病院職員の方よりご連絡を頂き、そして対象者の方、病院職員の方と当会職員で今後の具体的な計画や支援方法について相談を致します。

退院へのお気持ちがある患者さんには、今までの生活を振り返って頂き、これからどう生きたいか、夢や希望などを共に確認致します。そしてそのご希望に対して、私たちがどんなお手伝いができるのかを提示し、お互いの同意の元に契約を致します。



# このプログラムで退院して生活できる基準

- 服薬自己管理がある程度確立している人
  - 現実には退院すると服薬が出来なくなる人もかなりいる
- 通所施設に通えること、集団に馴染めること
  - ピアの支援が受けられる
- 職員との信頼関係が築けること
- ADLについては現在模索中
  - どのくらいの人まで地域生活が出来るのか
  - 年齢制限等は設けていない

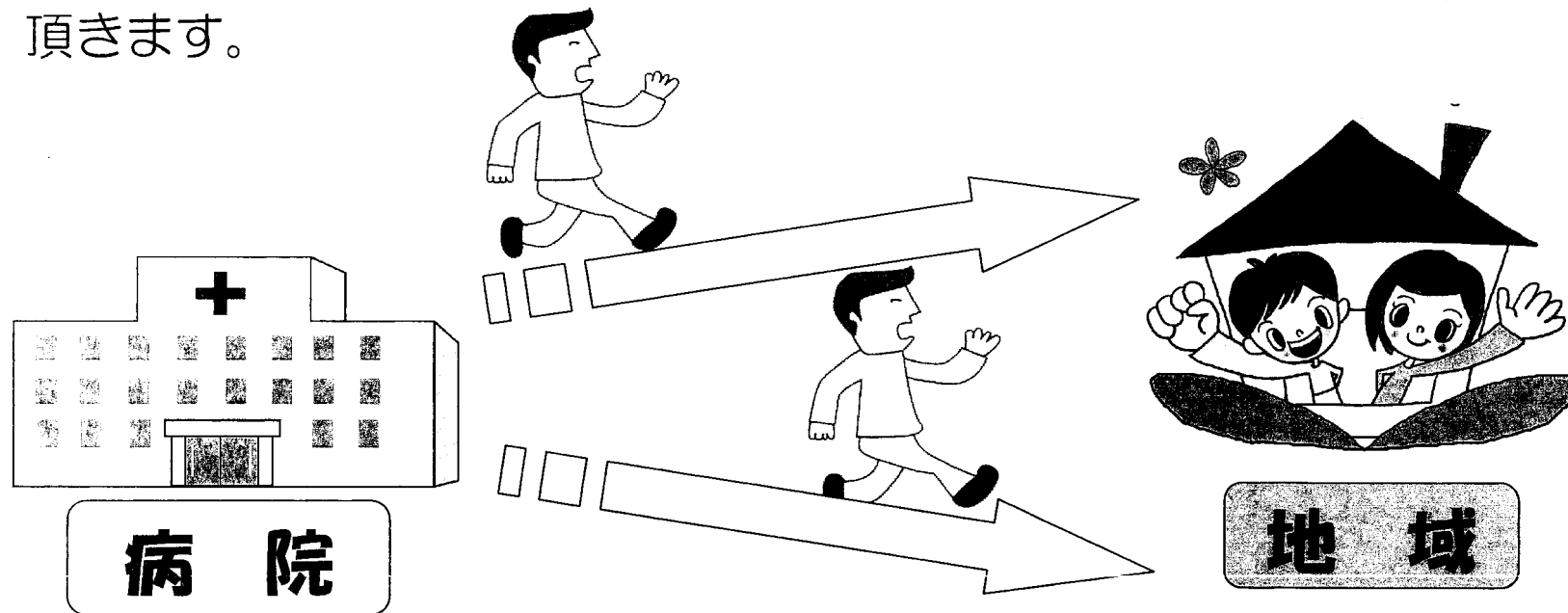


### ③ 退院訓練

面接を経て、退院促進事業の対象となられた方には、地域への第1歩として病院から当会の通所施設（巣立ち工房・巣立ち風・こひつじ舎）のいずれかに通って頂きます。

通所先も通所開始日も、ご本人のご希望で決めて頂けます。また通所日数、時間などについてもご相談に応じます。

安定して通所し、そこで仲間を得ることで、自立生活への自信をつけて頂きます。



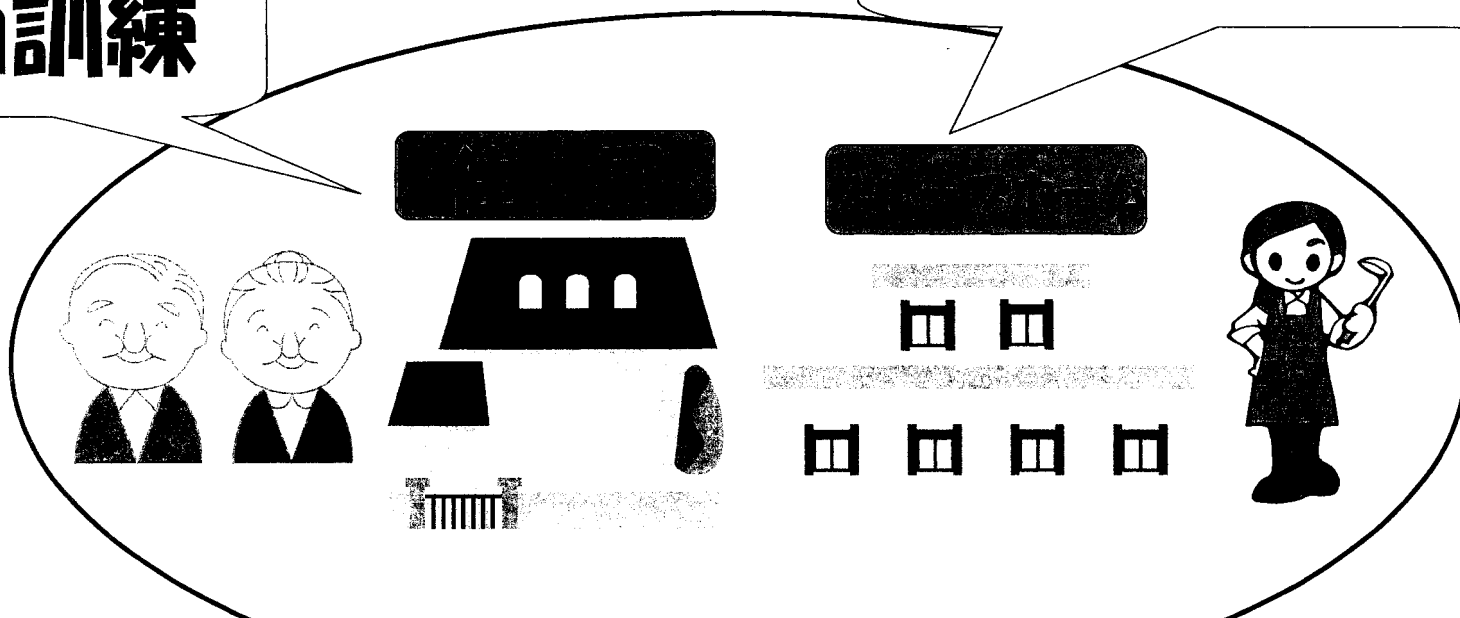
**病院から通う！**

## ④ 住居支援

通所も安定し、具体的に退院の予定が出てくると住居探しに入ります。ご本人、ご家族、病院関係者の方々と相談しながら、場所や入居時期等を考慮し、その方に合ったグループホームや住まいを探していきます。また、ショートステイを利用した外泊訓練などもはじめて頂き、退院への準備を始めます。

外泊訓練

ショートステイ



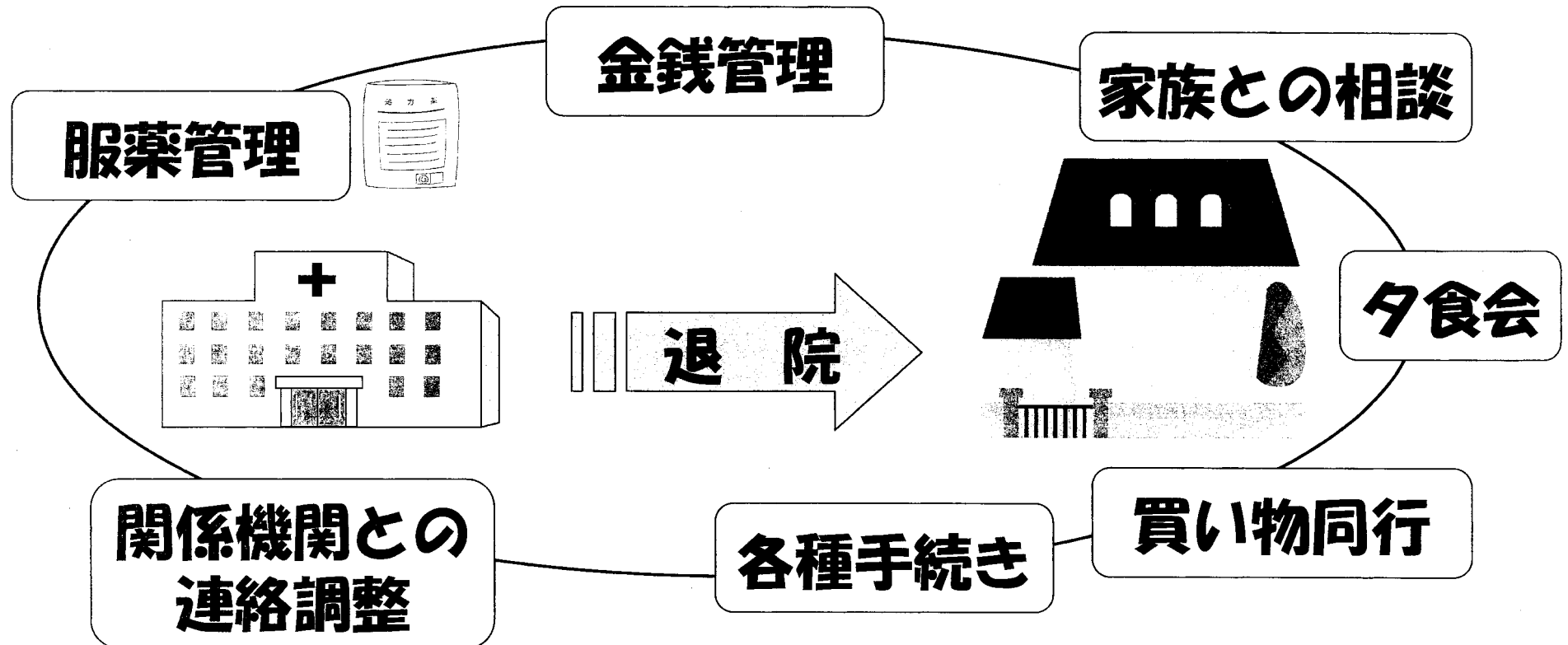
根気強い部屋探し！！

## ⑤ 退院準備

お部屋も決まり退院が具体的に決まった方は、退院への準備に入ります。

まず重要なのが「服薬の自己管理」です。入院先の病院で服薬の自己管理が行えるように準備をして頂きます。

そして継続した施設通所のために、通所目的や日程の確認を再度行います。また退院後の住居見学も行います。



## ⑥ アフターケア

退院し、地域での生活がスタートすると日常生活の中で様々な出来事が起こります。

ゴミの分別や、食事の管理と、不慣れな点や不安なことについては、職員が随時ご相談にのり、快適な地域生活が送れるよう、サポートしていきます。

